

資料4

平成 24 年度  
アユモドキほか魚類分布状況調査  
(資料収集及び分析) 業務委託

報告書

平成 25 年 1 月

株式会社  
**地域環境計画** 生きものと共に  
おもいがん

## 目 次

1. 業務概要 .....	1
1.1 業務名 .....	1
1.2 業務の目的 .....	1
1.3 業務期間 .....	1
1.4 業務対象位置 .....	1
1.5 業務内容 .....	3
2. 調査データ、既存資料、関連事業の整備状況等の集約及び分析 .....	4
2.1 調査データ、既存資料、関連事業の整備状況等の集約 .....	4
2.2 集約した資料の整理及び分析 .....	6
3. 亀岡市における今後の取り組みに関する考察 .....	17
3.1 現状の課題の整理 .....	17
3.2 今後の取り組みについて .....	17
4. その他の事例 .....	20
4.1 岡山におけるアユモドキ保全への取り組み .....	20
4.2 他の希少魚類の現状と課題 .....	20
5. 亀岡市アユモドキ緊急調査検討委員会について .....	21
5.1 第2回亀岡市アユモドキ緊急調査検討委員会概要 .....	21

## 1. 業務概要

### 1.1 業務名

平成24年度 アユモドキほか魚類分布状況調査（資料収集及び分析）業務委託

### 1.2 業務の目的

国の天然記念物、種の保存法に基づく国内希少野生動植物及び京都府条例にて指定希少野生生物に指定され、絶滅が懸念されているアユモドキは、本市の保津川（桂川）とその支川に生息している。

平成20年に多数の外来魚の侵入による捕食の影響を受け、当歳魚がほぼ皆無、また全体の個体数が約4分の1に激減する事態となってから今日まで、保護増殖事業を実施し保全を図ってきたが、安定的多数の個体群の形成には至っておらず、依然として危機的な状況が続いている。

アユモドキの保護増殖事業については、「①外来魚対策」、「②生息区域の保全」、「③生息区域の拡大」、「④教育普及を目的とした飼育による種の確保」、「⑤系統保存」等があげられ、亀岡市においては、主として「①外来魚対策」、「②生息域の保全」に取り組んでいる状況であり、安定的多数の個体群の形成のため今後進めるべき事業の方向性について検討する必要がある。

今まで、環境省をはじめ農林水産省、京都府、亀岡市及び亀岡市保津地域アユモドキ保全協議会等の関係機関においてアユモドキの保護増殖に係る調査等が実施されている。

また、河川改修工事や整備等の施工時には、「③生息区域の拡大」に配慮した整備が既に実施済の箇所もある。

本業務は、これらの調査データや整備状況等を集約し、不足する情報や継続的に進めるべき調査内容等を分析し、今後の亀岡市におけるアユモドキの保護増殖事業の展開を検討するための、基礎資料の集約を図ることを目的とする。

### 1.3 業務期間

平成24年11月8日から平成25年1月31日まで

### 1.4 業務対象位置

京都府亀岡市の保津川（桂川）とその支川及び周辺水域（図 1.1 参照）

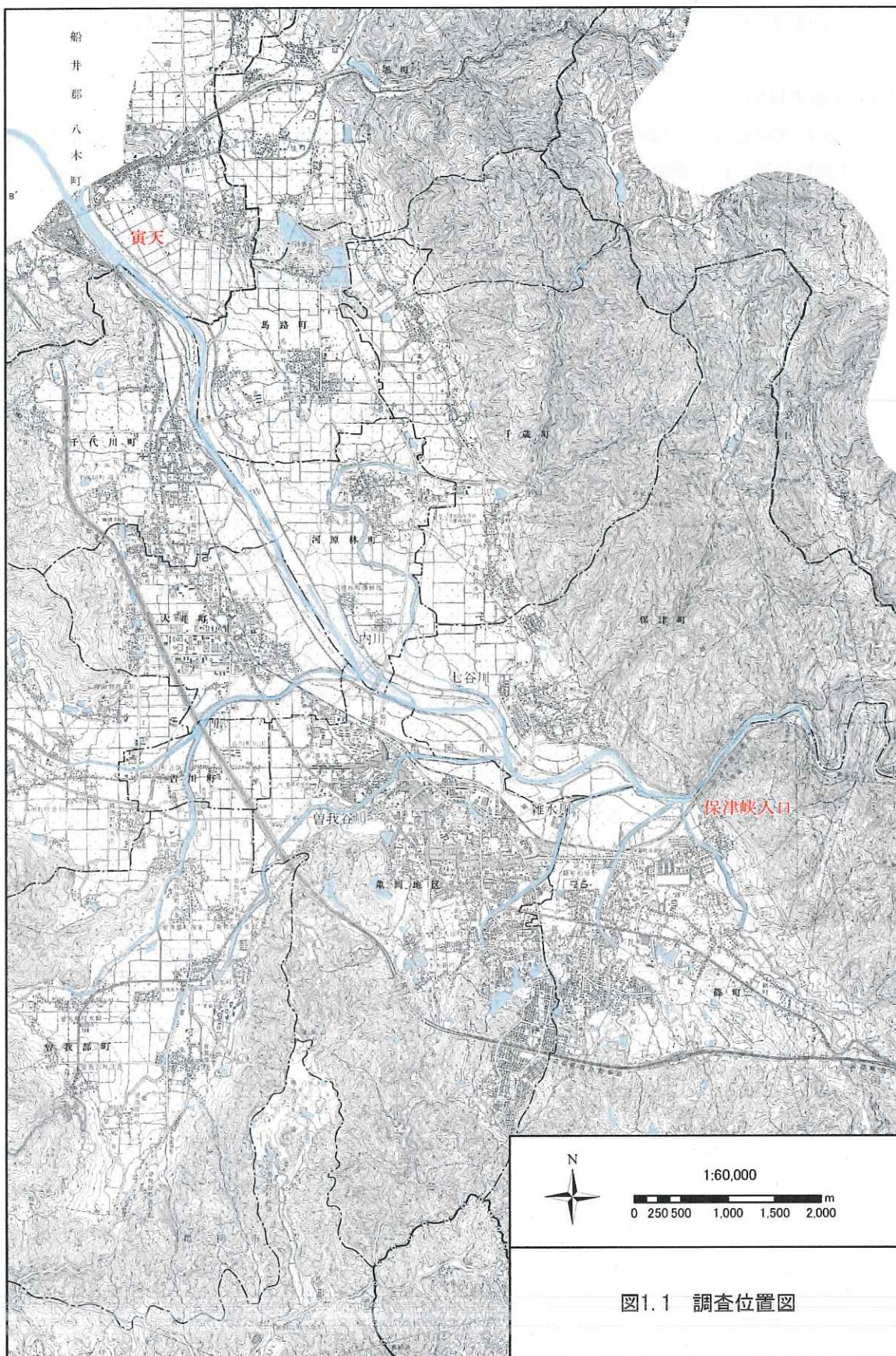


図1.1 調査位置図

## 1.5 業務内容

### 1.5.1 調査データ、既存資料、関連事業の整備状況等の集約及び分析

環境省、農林水産省、京都府、亀岡市、亀岡市保津地域アユモドキ保全協議会、NPO法人亀岡人と自然のネットワーク等の機関が実施した、調査データ、過去の生息情報等の既存資料及び河川改修工事やほ場整備事業等の整備状況等、主に平成20～24年度の亀岡市域を中心としたアユモドキに関連した事業についての情報を集約、整理し、下記の項目に関する分析を行った。

- ・成魚の生息環境
- ・産卵場所と仔稚魚の成育環境
- ・外来魚対策
- ・アユモドキの生息に配慮した環境整備
- ・その他の留意すべき項目

### 1.5.2 今後の取り組みに関する考察等

上記1.5.1の結果を踏まえ、現状の整理及び課題の抽出等を行い、今後、亀岡市が取り組むべきアユモドキ関連対策について考察、検証した。

### 1.5.3 その他

調査の計画、実施、報告書の作成にあたっては亀岡市の指定する専門家及びNPO（1団体）から助言を得るとともに、業務については協力して実施する。

また、課題等の分析作業にあたっては「亀岡市アユモドキ緊急調査検討委員会」の意見を聴取する。具体的には、上記1.5.1の項目に関する現状の整理等を行い、「亀岡市アユモドキ緊急調査検討委員会」開催時に意見を聴取する。

## 2. 調査データ、既存資料、関連事業の整備状況等の集約及び分析

### 2.1 調査データ、既存資料、関連事業の整備状況等の集約

亀岡市域において、主に平成20～24年度に各機関が実施したアユモドキに関する事業について集約したものを、表 2.1に整理した。